

「Keep」を作っている会社

(株)ホシヤ に行ってきました!!



左、今の社長のむす子さん。
お仲 前社長、今の社長のお父さん。Keepを作った。
社長 は営業に行っていました。

一人でキー^カ最後の
所をやっていました。

K-100
Keep消しゴムが出来るまで

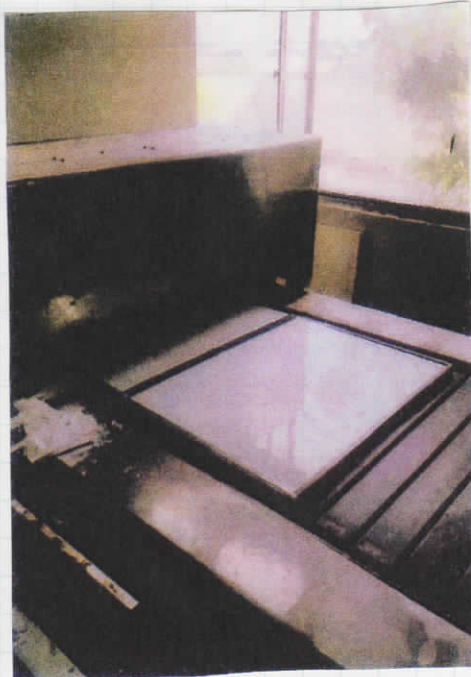
いただいた資料を短かくさせていただきます。



塩化ビニール樹脂^{じゆし} 可塑剤^{かそざい} 炭酸カルシウム
安定剤などを混ぜて「ゾル」という液体状
のハチミツの様な粘り気の物を作ります。

ゾルを金型に流しこみます。

金型は約60cm×50cmで厚さは12mm



金型を大きな焼きがまの中で設定した
温度時間で加熱します。

加熱の終わった金型を別の機械で
上下から1秒前後の力でプレス加工します。
(この作業で消しゴムの表面を均一に)

これらが終わった消しゴムを金型から
取り出し、約24時間自然冷却します。

この消しゴムを規定の大きさに
カットします。(上から2番目の写真のサイズ)

上写真の大きさの消しゴムから
K-100の消しゴムが144個作れます。

カットの終了した消しゴムに
手作業で、プのケースを差しこみ
セロハンを巻きます。

全部で3種類!!

完成!!



社長の奥さんに
Keep 消しゴムについて聞いてきました!!

Q 「Keep」という名は、なんでキープと付けたの?

消え方を保つ、キープする。という意味をこめて付けた。

Q 1番「Keep」を出荷しているのはどこ? (ネットでは「静岡県で人気」と書かれていたの?)

出している量はほとんど変わらない。

Q 「Keep」のパッケージはずっとこのまま?

ずっとこのままです...と思っている。

Q 「Keep」をどうやって広めていったの?

沖縄、仙台、甲府、静岡など地方に電車などを
使って自ら行って広めていった。

今は毎月車で全国を回って「Keep」を
売ってくれる所におろしている。

Q いつがいそがしい?

学期の始めや新学期の準備をする時期
がいそがしい。

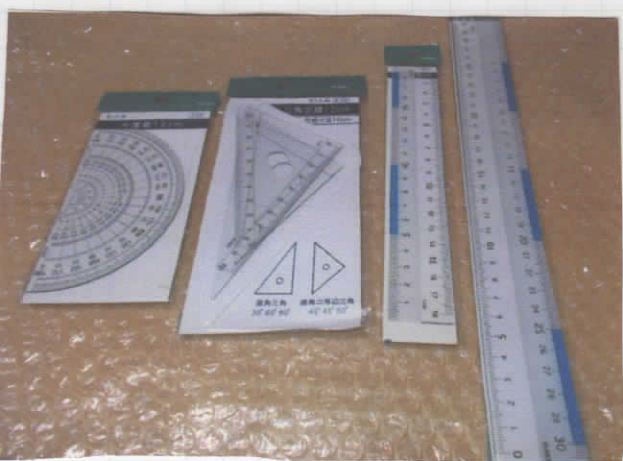
(株)ホシヤでは...

新しいKeepシリーズの開発を目指していました!!



「今のKeepは消しカスが多い、まとまらない」という意見と今のkeepは少しがためなので、低学年には向いていないということで「まとまるタイプ」(やわらかい)のを作ろうと試作品を作っています。

ホシヤが作る定規がありました!!



初めて見ました。シンプルで見やすい定規や分度器がありました。

値段もお手ごろです。
よかったら使ってみてください!!

(株)ホシヤのみなさん

ありがとうございました!



考察

今回様々な会社の消しゴムを使って、何種類もの実験をやって、その結果を見て、一番総合評価の高かった消しゴムがよく使っていた消しゴムではなく、ほとんど使ったことのないPLUSという会社の「W A I R - I N」というカラーが4色ある消しゴムがTOPでびっくりしました。また、評価ごとの消しゴムのTOPらは、どんどん入れ変わっているので、使い方によって変えていきたいと思いました。消しゴムを手作りで(株)ホシヤの「K e e P」という消しゴムは作られていて、びっくりしました。なので、ていねいに使っていきたいと思います。

参考文献

インターネット

- ・日本筆記具工業会
- ・ペンテル
- ・ヒノテワシ株式会社
- ・株式会社シード
- ・PLUS
- ・株式会社ホシヤ
- ・トンボ鉛筆
- ・コクヨ
- ・サクラ

本

- ・「なぜ？」に答える科学のお話366 長沼毅 P65
- ・ビジュアル版学校の歴史②文房具・持ち物編 P25
- ・文房具図鑑 監 山本健太郎